

このバカ息子!
でもラブだ! 超マジだ!

我が道を行く息子を
信じて、愛して...
家族は、大変だ。

八幡シネマ

2024年
7月13日(土)

役所広司

菅田将暉 森七菜 豊田裕大

坂井真紀 / 田中泯

監督・成島 出

原作・門井慶喜「銀河鉄道の父」(講談社文庫)

脚本・坂口理子

音楽・海田庄吾

製作・木下グループ 制作プロダクション・キノフィルムズ / インターナショナルジャパン 配給・キノフィルムズ

助成・大分県文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業)独立行政法人日本芸術文化振興会
©2022 銀河鉄道の父 製作委員会

銀河鉄道の父

直木賞受賞作
待望の映画化

宮沢賢治 没後90年の時を超えて伝えたい、笑いと涙の宮沢家の物語。
この家族愛、銀河系で一番アツい。



父
政次郎

わが子に翻弄されまくる!?

えっ!? 長男なのに
質屋を継がない
だっ!?

究極の家族愛を描いた傑作にして、
第158回直木賞受賞作「銀河鉄道の父」待望の映画化!



お父様、お兄ちゃんに
家業はムリです。

妹
トシ

宮沢賢治の父・宮沢政次郎。父の代から富裕な質屋であり、長男である賢治は、本来なら家を継ぐ立場だが、適当な理由をつけてはそれを拒む。学校卒業後は、農業や人進宝石、宗教と我が道を行く。政次郎は厳格な父親であろうと努めるも、賢治のためなら、どいつ甘やかしてしまおう。やがて、妹・トシの病気を機に、賢治は筆を執るも――。監督は、『八日目の蟬』『いのちの停車場』など、日本中に感動を巻き起こしヒット作品を生み出してきた成島出。

没後90年経った今も尚、世界中の人々の心に生き続ける宮沢賢治。この激動の時代に、生きる力を与えてくれる珠玉の一本が誕生する。



僕には夢がある!
質屋はイヤです...

じいじ!!

宮沢賢治



私は、賢さんの
母親だわ。

母
イチ



いい加減にして!
お前は、父へ、ありすぎる。

祖父
喜助



兄さん、今度は
何をやるのす?

弟
清六

2024年 7月 13日 (土) 日本語字幕を付けて上映します 八幡市文化センター 大ホール

<上映時間> ① 午前 10時30分 <入場料> 前売 1000円(当日1200円) 3歳以上有料
② 午後 1時30分 *障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方、介護者1名は100円引きです

●前売券発売中 : 八幡市文化センター/八幡市立生涯学習センター/松花堂庭園・美術館
主催:(公財)やわた市民文化事業団 ☎ 075-971-2111/京都映画センター ☎ 075-256-1707